

凡例 日日時 期期間 場場所 内内容 対対象 講講師 費費用 定定員 持持ち物 申申し込み 提提出先 他その他 問問い合わせ 休休館日

※特に記載のない場合、申込時間は開館(開庁)日の午前9時から午後5時まで。入館料等詳細は各施設まで。

文化施設

文書館

TEL 71・5123 FAX 71・5127
bunshokan@city.azumino.nagano.jp

企画展「改元に見る市民生活」

明治以降の天皇代替わりや改元に関わって行われた行事・市民生活の姿を、行政文書や学校日誌などを通して紹介します。

日 4月28日(日)～7月31日(水)

午前9時～午後5時

場 文書館閲覧コーナー 費 無料

休 土曜日、祝日(4月29日(月)、30日(火)、5月6日(月)は臨時開館)

◆企画展関連講座

① 年号と暦の戦国時代

～甲信地方を中心に～

日 5月19日(日)

講 逸見大悟さん(市文化課)

② 学校日誌から見る天皇代替わり

日 5月26日(日)

講 平沢重人さん(文書館館長)

【①②共通事項】

時間 午後1時30分～3時

場 文書館講義室 費 無料

定 30人(先着順)

申 4月22日(月)から文書館へ電話・ファクス・電子メールいずれかの方法で

豊科近代美術館

TEL 73・5638 FAX 73・6320

【特別展・企画展共通事項】

4月27日(土)～6月2日(日)

費 入館料 一般600円、高校生・大学生400円

休 5月7日(火)、13日(月)、20日(月)、27日(月)

春の特別展「千田泰広展」

光や音の体験型作品を展示します。会場で体感してください。

●関連イベント(要入館料)

関連イベント	日時	講師・その他
【オープニングトーク】 「旅する作品 言葉と国を越えて」	4月30日(火) 午後1時～2時	千田泰広さん・金井直さん(信州大学人文学部教授)
ナイトミュージアム	5月4日(土)・5日(日) 午後5時～9時	—
【シンポジウム】 千田泰広×学芸員たち 「美術の進化と深化 インスタレーション作品を通して」	5月5日(日) 午後6時～7時	千田泰広さん・浜田見彰さん・武井敏さん・美術館学芸員
【ワークショップ】 MY北アルプスを作ろう	5月4日(土) 午後1時～2時	対象：小学生～※要申込
【ワークショップ】 MY大カエデを作ろう	5月5日(日) 午後1時～2時	対象：小学生高学年～※要申込

常設企画展「安曇野モダン2展」

「木村辰彦展」
安曇野ゆかりの作家作品と新たに収蔵および修復した木村辰彦作

講演「近現代における天皇制とは～明治維新から令和に至るまで～」

明治から現在までの天皇制の在り方の変遷について解説します。

日 5月6日(月)

午後1時30分～3時

場 堀金公民館講堂

講 瀬畑源さん(成城大学非常勤講師)

費 無料 申 不要

眞享義民記念館

TEL 77・7550 FAX 77・7551

人生新たな挑戦!! 古文書講座

古文書の基本を学び、「赤竊談」を読み解きながら「眞享騒動」との相違点にせまります。

日 6月1日・15日、7月6日・27日、9月14日・28日、10月12日・26日(いずれも土曜日・全8回)

午後1時30分～3時30分

場 記念館研修室

講 青木教司さん(元松本城管理事務所研究専門員)

費 無料(別途資料代)

定 30人(先着順)

申 4月23日(火)から記念館に電話またはファクスで

墨友会 水墨画作品展

墨友会の会員の皆さんが描いた、水墨画作品を展示します。

日 5月8日(水)～19日(日)

午前9時～午後5時(初日は正

品を展示します。

【関連イベント】

加々美豊さん・森本啓子さんと話そう

日 4月27日(土) 午前10時～正午

常設展作品解説

申 会期中随時(所要時間15分)

母の日のアレンジづくり

日 5月12日(日)

① 親子参加 午前10時～正午

② 大人(中学生以上)のみ

午後1時30分～3時30分

講 今溝明子さん

費 2800円(①はドリンク、②はケーキセット付)

定 ①親子10組(2人一組先着順)

②大人10人(先着順)

持 生花用はさみ、エプロン、作品を入れる袋

申 4月23日(火)～5月6日(月)

に美術館へ事前に電話の上、参加費を美術館窓口へ直接。



扇子絵ワークショップ

日 5月18日(土) 午前10時～正午

対 小学生(保護者も参加できます)

費 2000円 定 20人(先着順)

講 竹内勲さん・奥原美智子さん

午から、最終日は正午まで)

場 記念館企画展示室

費 無料(常設展は有料)

休 月曜日

豊科郷土博物館

TEL 72・5672 FAX 72・7772

第35回友の会山草サクラソウ展

友の会山草部の皆さんが育てた可憐な草花、高山植物など約100鉢を展示します。

日 5月3日(金)～6日(月)

午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

場 博物館2階学習室 費 要入館料

臨時休館のお知らせ

館内燻蒸(収蔵資料の防虫)作業のため、次の期間を臨時休業します。

日 5月28日(火)～31日(金)

安曇野高橋節郎記念美術館

TEL 81・3030 FAX 82・0551

第15回友の会会員展

美術館友の会会員の絵画・工芸・彫刻・写真などの作品を展示します。

日 5月18日(土)～6月2日(日)

午前9時～午後5時(最終日は午後3時まで)

場 美術館主屋 水辺のギャラリー

費 無料(本館展示室は有料)

休 月曜日

再発見! 安曇野の文化

TEL 71・2465 FAX 71・2338 文化課博物館係

年号が彫られた道祖神碑

5月から新元号「令和」が使用されることになりました。

江戸時代以前は、天皇一代に一つの年号が使用されるとは限らず、めでたいことや災害などを理由に改元が行われたこともありました。また60年に一度めぐってくる甲子(かのとこ)や辛酉(かのとこ)の年には世の中に大きな変革が起こると考えられており、朝廷で改元が検討されました。市内に点在する道祖神碑などの石造物は江戸時代に造られたものも多く、さまざまな年号が彫られています。前述の甲子や辛酉の年に改元された年号も見られます。

皆さんの身近にある道祖神碑や庚申塔、馬頭観音像などの石造物には、どんな年号が刻まれているでしょうか。4月28日からは市文書館で企画展「改元に見る市民生活」を開催しますので、ぜひご覧ください。



「元治元年甲子」(1864)の年号が彫られた道祖神碑(相矢郵便局の北方50m付近にあります)

おすすめの1冊

異常気象のサバイバル

ゴムドリ8 / 著 韓賢東 / 絵



紹介する人 けんし 健司さん (豊科) ぷりはた 降旗

サバイバルシリーズはたくさん出ていますが全部読みました。その中でも興味があって何度も読み返しているものが「異常気象のサバイバル」です。ジオ、ドンギョ、ケンジの3人が、砂嵐・山火事・緑潮などに遭遇する中で、サバイバルの基本的知識やサバイバルノットを使って、危険を脱出するというカッコいいお話です。

今、世の中は地球温暖化と言われています。原因は人間の行動によって起きたものだとなりました。解決するためには、僕たちの未来の地球を守るために何ができるのか、何をしなくてはいけないのかを考える良いきっかけとなりました。そして、一人では解決できなくとも、みんなが一緒に考えて同じ方向を向くことが大事だと知りました。僕は、なるべくエアコンを使わないことで、地球を守ることを考えています。